

(給食と弁当の選択制がよい)

- ・ 小学生には学校給食は必要だと思うが、中学生になると忙しい父母に作ってもらうより自分で作ったりするのも勉強になると思う。
- ・ 中学校給食について、生徒さんの成長する個人差が厳しい時なので、給食だけで満足出来る方とまだまだ満足できないという方、生まれ持ったアレルギー体質の方等多様ですから、お弁当、学校給食の選択どちらか選べるようにした方がいいように思います。
- ・ 手づくり弁当を持たせてやりたい親心、弁当を作ってやれない家庭環境等を考えると給食と弁当を選択できるのが良いと思います。
- ・ 中学校給食については、食育上バランスの良い食事は大切だが、著しい偏食は別にして、好き嫌いも個性であると思います。
- ・ 完全給食にしてしまえば、給食費の滞納者もでてくると思う。アレルギーがある子もいるので、給食にすればアレルギー食も作らなければならない。でもアレルギーの多い子は持参になるのであれば、1人だけ弁当もさみしいので、選択できると子どもの心のケアも少しは出来ると思う。
- ・ 中学生になれば学校給食は反対です。甘やかし過ぎになると思う。自分で弁当を作り持参して食べさせなさい。弁当一つ作るのに毎日どれだけ苦労しているかを分からせる為にでも自分で作らせる事です。
- ・ 基本中学校給食には反対です。小学校でも給食費未払いが多く、同様の事が起こると考えるからです。平成の時代、栄養バランスも学校がする必要はないと思います。店もものもあふれ、各家庭で考えるべきです。

【その他】 (主なもの)

- ・ どのような制度であれ、地域住民が積極的にコミットメントすべきだと考える。
- ・ どちらの問題も十分に検討したうえで決定すべきだと思います。また導入となった場合には、各区ばらばらでなく市全体で実施した方が良いでしょう。
- ・ 小中学生が身近にいないので、突然のアンケート、なかなかむづかしい問題です。フォーラムに出席させていただき、説明、質問、意見の数々をうかがい、各々の立場での考え、希望があるのを知り、更にむづかしい問題だと知りました。十分な議論の末の結論となります様に願っています。

### 3 調査分析のまとめ

学校選択制については、「小学校・中学校とも賛成」が31%、「中学校での実施は賛成」が27%（あわせると58%）となっています。「実施に反対」は31%です。

賛成する理由としては、複数回答のうち、63%の方が「子どもの個性や希望に合った学校が選択できると思う」をあげています。それ以外の理由は、概ね同じ割合となっています。

反対する理由としては、「学校の施設や保護者間の評判等で学校が選ばれ、児童生徒数がかたよる恐れがあるから」が58%、「子どもの見守りや防災訓練など、学校と地域が連携した取組がうまくいかなくなる懸念があると思うから」が55%となっており、これら2つの理由が比較的多くなっています。

賛成の場合の導入方法については、小学校は「自由選択制」が43%、「隣接区域選択制」が42%とほぼ拮抗しています。「自由選択制」と回答された方は「何の制限もなく自由に選択されるべき」や「選択肢は多い方がよい」などを理由としている一方、「隣接区域選択制」と回答された方は、「小学生の場合、あまりに遠方では不安になる」「各種事件や交通事故等を考慮すると小学生は通学距離が少ない方がよい」など、通学距離と安全面の課題を理由としています。

一方、中学校では「自由選択制」が58%、「隣接区域選択制」が25%と前者が後者を2倍以上、上回っています。「自由選択制」と回答された方は「自立心が出るころだし、自分の将来を考えるいい機会になると思う」や「中学生だと自分の意見も持っている」など、小学生との違いを理由にするご意見が多くなっています。

中学校給食については、「全員が学校給食を食べる」が61%、「学校給食か、家庭から持参する弁当のどちらかを選ぶ」が37%となっています。

最後に自由記述で、学校選択制、中学校給食についてご意見をお伺いしたところ、学校選択制へのご意見が約90件、中学校給食へのご意見が約180件ありました。その中で、給食費の未払問題について37件、アレルギーについて10件のご意見を頂いています。

回答にご協力いただきました、区民モニターの皆様に厚くお礼申し上げます。

平成 24 年度第 1 回区民モニター集計

設問	回答数	回答率
問 1	1	37 9.3%
	2	19 4.8%
	3	61 15.3%
	4	179 45.0%
	5	126 31.7%
	無回答	13 3.3%
		435
問 2	1	122 30.7%
	2	5 1.3%
	3	109 27.4%
	4	125 31.4%
	5	29 7.3%
	6	3 0.7%
	無回答・不明	5 1.2%
		398
問 3	1	88 37.3%
	2	148 62.7%
	3	92 39.0%
	4	76 32.2%
	5	12 5.1%
	無回答・不明	2 0.8%
		418

設問	回答数	回答率
問 4	1	112 46.9%
	2	101 42.3%
	3	138 57.7%
	4	131 54.8%
	5	23 9.6%
	無回答・不明	12 5.0%
		517
問 5	1	54 42.5%
	2	15 11.8%
	3	53 41.8%
	4	0 0%
	無回答・不明	5 3.9%
		127
問 6	1	134 58.0%
	2	26 11.2%
	3	57 24.7%
	4	0 0%
	無回答・不明	14 6.1%
	231	
問 7	1	242 60.8%
	2	149 37.4%
	無回答・不明	7 1.8%
	398	

お問合せ先

都島区役所 総務課 総合企画グループ

住所 : 〒534-8501 大阪市都島区中野町 2 丁目 16 番 20 号  
(区役所 1 階 11 番窓口)

電話 : 06-6882-9683

ファックス: 06-6882-9787

Eメール : tb0010@city.osaka.lg.jp

都島区保護者アンケート結果  
学校選択制と中学校給食について



平成 24 年 7 月  
大阪市都島区役所

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

大阪市では、就学すべき小・中学校について、区長があらかじめ保護者の意見を聴取し、その意見を踏まえて学校を指定する小・中学校の「学校選択制」の具体化や「中学校給食」の実施に向け、検討を進めています。

都島区役所では、区民の皆様から幅広くご意見を頂戴し、集約するため、区内の保育所・幼稚園等及び小学校の保護者の方々を対象にアンケートを実施しました。

なお、同様のアンケートを5月に開催した都島区学校教育フォーラムの参加者、区民モニターの方々を対象に実施しております。

### (2) 調査の実施状況

- ① 調査期間：平成24年5月15日（火）～平成24年5月31日（木）
- ② 方法：学校園・施設を通じ、保護者に協力依頼
- ③ 対象：区内の保育所・幼稚園等及び小学校の保護者 7,458人
- ④ 回答数：4,497人
- ⑤ 回答率：60.3%

回答用紙 回収場所	配布数	回収数	回収率
保育所・幼稚園等	2,891	1,483	51.3%
小学校	4,567	2,908	63.7%
郵送・ファックス・持ち込み		106	
計	7,458	4,497	60.3%

## 2 調査結果

問1. あなたの年齢、居住地についておたずねします。(n<sup>\*</sup> =4,497)

※ 標本数

### 【年齢】

① 18歳未満	96人 (2.1%)
② 18歳～29歳	211人 (4.7%)
③ 30歳～39歳	2,422人 (53.9%)
④ 40歳～49歳	1,679人 (37.3%)
⑤ 50歳～59歳	59人 (1.3%)
⑥ 60歳以上	18人 (0.4%)
無回答	12人 (0.3%)

### 【居住地】

① 区内	4,106人 (91.3%)
② 区外	152人 (3.4%)
無回答	239人 (5.3%)

### 【子どもとの関係（あてはまるものはいくつでも記入してください）】

① 小学生の保護者	3,418人 (76.0%)
② 中学生の保護者	623人 (13.9%)
③ 就学前の子ども（幼稚園、保育所等）の保護者	2,165人 (48.1%)
④ 地域関係者	8人 (0.2%)
⑤ その他	45人 (1.0%)
無回答	10人 (0.2%)

問2. 学校選択制の実施について、ご意見をお伺いします。(n =4,497)

① 小中学校とも学校選択制の実施に賛成である	1,350人 (30.0%)
② 小学校での実施に賛成であるが、中学校での実施は反対である	50人 (1.1%)
③ 中学校での実施は賛成であるが、小学校での実施は反対である	935人 (20.8%)
④ 学校選択制の実施に反対である	1,534人 (34.1%)
⑤ わからない	519人 (11.6%)
⑥ その他	49人 (1.1%)
無回答・不明	60人 (1.3%)

問3. 問2で、①②③と答えた方にお伺いします。

賛成する理由は次のうちどれでしょうか。（複数回答可）(n =2,335)

① 区域外に近い学校があり、通学の負担が少なく、安心だから	845人 (36.2%)
② 子どもの個性や希望にあった学校が選択できると思うから	1,593人 (68.2%)
③ 選択することで学校への関心や積極的に関わろうとする意識を持てるから	701人 (30.0%)
④ 学校の特色づくりや活性化への取組、情報発信が進むと思うから	744人 (31.9%)
⑤ その他	140人 (6.0%)
無回答・不明	30人 (1.3%)

問4. 問2で、②③④と答えた方にお伺いします。

反対される理由は次のうちどれでしょうか。(複数回答可) (n =2,519)

① 通学距離が遠距離になり、通学の安全性に不安が生じるから	1,242人 (49.3%)
② 学校間の競争で格差が生じ、序列化が進む恐れがあると思うから	1,128人 (44.8%)
③ 学校の施設や保護者間の評判等で学校が選ばれ、児童生徒数がかたよる恐れがあるから	1,646人 (65.3%)
④ 子どもの見守りや防災訓練など、学校と地域が連携した取組がうまくいかなくなる懸念があると思うから	1,495人 (59.3%)
⑤ その他	191人 (7.6%)
無回答・不明	141人 (5.6%)

問5. 問2で、①②と答えた方にお伺いします。

小学校では、どのような学校選択制を導入するのがよいと思われましたか。(n =1,400)

① 自由選択制	609人 (43.5%)
② ブロック選択制	141人 (10.1%)
③ 隣接区選択制	493人 (35.2%)
④ その他	8人 (0.6%)
無回答・不明	149人 (10.6%)

【上記を選んだ理由】

① 自由選択制

- ・ 選択出来る学校が多ければ、子供に合った学校を見つけやすいと思うから。
- ・ 親の職場と自宅の中間にある学校を選びたかった。何かあった時でも導線が良い方がいい。
- ・ 全く自由にしたところで、そんな遠くに行く人は少ないと思うし、いじめや、教師との不仲など、全くちがう地域に行きたい子は、行けるようにしてあげれば良いと思う。
- ・ 選択制を希望する親は、それぞれの学校の特色を考え選ぶと思う。学校にとってよりよい“学校作り”がなされていていいと思う。

② ブロック選択制

- ・ 小学校低学年だとあまり広範囲だと通学が大変なので、ブロックごとに分かれていたらいいかと思う。

③ 隣接区選択制

- ・ 校区内よりも隣接区の学校の方が近いこともある為。
- ・ 自由すぎても選べないし、ブロックで区切られても不公平に思えそうなので、近くで好きな学校を選べたらありがたいです。
- ・ 区域の境目あたりに住んでいるので。今の学校の生徒数が少ない為、知ったお友達のいる隣接地域を限定という形で有れば、片寄りも少ないと考えられる為。

問6. 問2で、①③と答えた方にお伺いします。

中学校では、どのような学校選択制を導入するのが良いと思われましたか。(n =2,285)

① 自由選択制	1,176人 (51.5%)
② ブロック選択制	279人 (12.2%)
③ 隣接区選択制	589人 (25.8%)
④ その他	10人 (0.4%)
無回答・不明	231人 (10.1%)

【上記を選んだ理由】

① 自由選択制

- ・ 子供にあった学校を、選択する時、数が多いと良い。
- ・ 5校しかない現状で、ブロック制にするとほとんど選択制の意義がない。
- ・ 中学生なので、ブロックや隣接区域と選択範囲を狭くしなくても良いと思った。どうせ選べるなら自由に選べる方が、意味があるかなと思います。
- ・ 中学生くらいになればある程度、自己での自立が必要なのと、高校受験のためにも公立でより良い学校を選択できるのであれば、子供の進学・勉強意欲が増すと思われる。
- ・ 中学生になれば自転車での行動範囲も広がり、一人で通うのも不安が少なくなるのと、卒業後の進路をふまえて、自分の好む中学校に通えるのは良いと思うので。
- ・ 中学生ぐらになれば自由に選べる方が、たとえ遠い所でも、もし、いじめなどで、近くの所がいやならば遠い所でも1からスタートできたりで行ける子供などがいるかもしれない。
- ・ その地域の学校に行くために引越すといった事をする必要がなくなり、自由な場所に住むことができる。中学生ならば多少遠くても通学できる。
- ・ 自由選択の方が学校側もより考える必要がありマニュアルを超えた特色を主張することが重要であり、それを理解する側も考えるからである。
- ・ 評判のいい学校へ行かせたい。

② ブロック選択制

- ・ あまりに広くすると、地域で子供を見守ることが難しいと思うので、知った顔がいることも大切だと思います。

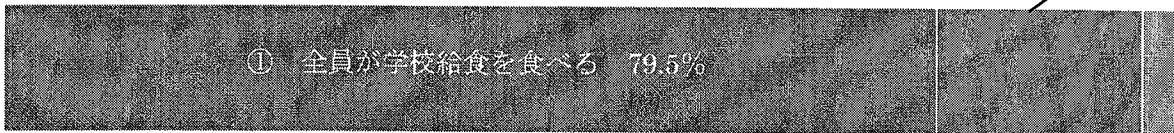
③ 隣接区選択制

- ・ クラブ等で遅くなると帰宅が安全性に不安なので近くの学校に通学させたいと思っているため、広範囲の選択は必要ないから。
- ・ 近くて魅力のある学校があり、距離的にも問題がないのに通学できない事が本人、親ともに残念に思うところだと感じる。
- ・ 自宅より最も近距離の学校へ通学するのが好ましいと思う為。
- ・ 小学校での友達関係も保ち、子供の個性や通学の利便性を考慮し学校を選択したいです。
- ・ 自由度が高すぎるとかえって選択が難しくなるから。

問7. 中学校給食を実施される場合、次のどちらが良いと思われますか。(n = 4, 497)

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| ① 全員が学校給食を食べる              | 3, 576 人 (79.5%) |
| ② 学校給食か、家庭から持参する弁当のどちらかを選ぶ | 783 人 (17.4%)    |
| 無回答・不明                     | 138 人 (3.1%)     |

② 学校給食か、家庭から持参する  
弁当のどちらかを選ぶ 17.4%



0% 20% 40% 60% 80% 100%



問8. 学校選択制、中学校給食についてご意見があれば、ご記入ください。

【学校選択制について】（主なもの）

（導入に賛成 など）

- ・ 基本的には賛成です（小中共に）。基本的に入学時にお友達の有無が左右するので、実際には住んでいる場所にある学校へ通うケースが多いのでは。「私立」のように、特色・学校の目的などが確立されているならば、考えても…と思いますが、現在の公立ではあまり大差がないような。中学については、部活等も有るので、選択できても良い部分もありますね。
- ・ 学校選択は悩むところですが、やはり選択できると学校への関心が高まります。
- ・ 区内の学校を選択する際、それぞれの学校の力を入れているところや特色を情報として教えてもらえると自分の子供の個性を生かすことができるのではないかと考えます。例えば、放課後にクラブ活動がある、水泳に力を入れている、資格を受けれる（漢検）、今流行のヒップホップダンスの授業がある、おおなわとび大会など、芝生をいちめにエコを考えているなどなど。
- ・ 学校選択制をする事によって、生徒の人数が偏る事なく平均的な人数になるのであれば、良い事だと思います。
- ・ 教師に緊張感を持ってもらう為にも自由選択制が良いと思う。選ばれる事により、教育する側がよりよい教育をしようとする努力を期待する。（競争にさらされる事により自己研鑽をし、質の高い教育を目指す環境が整っていきたく思います。）
- ・ 兄弟、姉妹がいる場合、小学校と保育園が離れてしまったら、送り迎えに時間がかかり、仕事が続けられない。生活が困る。（特に今年から小学校を変更されてしまい、来年から上の子供が小学校に行くんですが、保育園と遠くなり、来年からどうしたらよいかとても困っている。すぐにも、選択させてもらって、保育園と近くにしたい。）
- ・ 就学前である私の息子は発達障がいがあります。小学校によって、支援級などのしくみはまちまちなので、学校選択制の導入はすごく有難いです。ただ、そうなる学校と学校の特色を出したり維持するために、校長先生を始め教員の方たちの異動などはあつたりするのでしょうか。先生たちの異動などによって毎年学校の雰囲気が変わったりしないのか…そのあたりが気がかりです。

（中学校での実施は賛成）

- ・ 小学生の場合は通学にやはり少し問題が有ると思います。地域との連携の取り組みもうまく行きにくいのでは？と思います。
- ・ 小学校入学前の段階では、親も子ども学校に対しての情報が少なく、何よりも子どもの興味や個性がはっきりしていないことから、親本位の選択制になってしまう気がします。それは、保護者間の評判、ウワサで子どもの教育環境が選ばれ、まだ地域の見守りが必要な小学校にとって最善であるとは思えません。それに対し、中学を選択することは、子どもの興味（クラブ活動など）などをふまえて子ども本人に意見を組み入れることができるので、選択制もよいのではないのでしょうか。

（導入に反対 など）

- ・ 学校選択制を導入するにあたり、義務教育という観点からみれば平等性に欠ける事が考えられる。例えばクラブ活動等でスポーツに特化した学校が出来たり、また進学等に有利な環境の学校が出来たりと、まるで高校の様な感じにはなりませんか？あくまでも義務教育である以上教育環境や内容等は平等性を保つのが不可欠であると考え。何かに特化すれば、必ず環境が整備されてしまうのでは？（教育者や保護者の要望等で）また、地域としても、その様な学校があれば区としても管理上差別化されてしまうのではないかと不安である。（特化した学校が優遇されたりしないか？）
- ・ 通学区域の全体的な見直しをして、各学校の児童、生徒数の均一化を計り、かつ、教育方針その他で、どの学校に通学しても同じ教育が受けられるのであれば、選択制は必要がないと思うし、そうあるべきだと思います。
- ・ 学校選択制は、開始時と、校長先生や、主となる先生によってかなり学校間の差が出そうで、交代時期等により、格差はかなり出るように感じます。私立学校ではないので、教育方針にも格差はその都度、学年ごとに出てくるのでは？
- ・ 選択制に反対です。ただでさえ学校の人数にかたよりがあるのに、選択制にすれば、もっと増えて大変なことになると思います。

- ・ 学校選択制においては、現在でも序々に希薄になってきている地域との関わりが更に進むのでは？との心配があります。やはり近所・地域のおとなの目で子供達を見守っていきたいと思っています。
- ・ 子どもには発達障害があり、コミュニケーションが苦手な為、健常児より友だち関係を築くこと、地域とつながりをもっていくことが困難です。せっかく小学校生活で出来上がってきたものが学校選択制により、崩れてしまうので大反対です。何卒ご考慮下さい！
- ・ 学校の職員は定期的に異動があり、職員の構成や資質により学校の特色も変動があるように思う。いわば流動的な現実があり、学校を選択するメリットがあまりわからない。職員が固定化されるような私学を選択するのはまた別問題と思う。小さなことだが家庭訪問、登下校の安全指導等どうなるのか？と思う。

#### (その他)

- ・ 支援学校に通う程ではない、子ども達を公立に通わせたいが、地域によっては支援クラスをつくって頂けてない学校もあるので、そういう点からすると学校選択制の導入も考えるべきなのか…基本的には、今の体制でいいのですが…。
- ・ 学校選択制の重要な要素である「教育目標・特色・部活動の状況」は、誰が責任を持って決められるのでしょうか？現在は校長・教頭は数年おきに転勤することを前提で話をされる節が見受けられます（最近です）。一度決めた重要な要素は継続されるのでしょうか？特色・部活動等が維持できるような転勤体制にするのが大事なんじゃないでしょうか？先生が変わる度に変わってしまうようでは、選択したくてもできません。従って前述のような事が明確にならない限り、学校選択制について賛成も反対もできません。制度のみが先走っているように思います。
- ・ 学校選択制に関しては、メリット、デメリットを考え、時間をもっとかけて決定すべきである。

#### 【学校給食について】（主なもの）

##### （全員給食がよい～栄養面 など）

- ・ 成長期の中学生にこそ栄養士さんの指導のもとに作られた栄養バランスが整った給食が必要だと考えます。家庭では気を付けているつもりですがなかなかバランスの良い食事は難しいもの。せめて昼だけでも（1日の1食だけでも）バランスの整った給食が必要ではないでしょうか？
- ・ 給食は栄養のバランスがすばらしく、成長期の中学生にとって心身ともに成長にかかせない要素が含まれていると思います。家庭環境、etc、出来れば、全ての中学生に食べさせてあげたいと切に願います。
- ・ 中学校給食を弁当のどちらかでも良いにしたら結局弁当を子供が希望するのではないのでしょうか。子供は嫌いな物より好きな物ばかり入っている弁当の方を好むでしょう。弁当も作れない親がいてコンビニなどで買ってくる人も多く給食は栄養のバランスがとれているので一番良い点だと思います。

##### （全員給食がよい～保護者の負担軽減 など）

- ・ 給食について・・・働いているお母さんも多く、お弁当を作っても結局偏った内容になってしまうと思います。また導入する際は、全員給食の方が良いと思います。お弁当と給食を選ぶとなると、給食を選んだ時に「お弁当を作っていない・・・」と母親として罪悪感も残ります。全員給食を切に願います。宜しくお願いします。
- ・ お弁当は毎朝のことなので働いている方等にとっては、相当な負担になると思われますので、給食になれば負担減になると思います。選択制になると格差も生じかねないので全員給食が良いと思います。
- ・ 中学校給食については、高齢化社会で、子供が中学生くらいの頃に母親が看護・介護が必要な祖母のお世話で忙しくなったり、仕事などで子供に手をかけられない時期になると思います。完全給食であれば、保護者も助かるし、又、子供達の中でのいじめの原因が1つ減るのではないのでしょうか？（お弁当に話で、悪口いわれたりする子もいるかと…。）

##### （全員給食がよい～食育が進む、仲間意識が向上する など）

- ・ 中学校給食はするなら、全員でするべきであると思う。栄養バランスもよく、食生活、食習慣も身につけられるよう食育につながると思う。
- ・ 中学校給食については、保護者の負担は増えると、思いますが皆一斉に協同作業として配膳等に取り組む仲間意識の向上にもつながると思います。

(全員給食がよい～その他)

- ・ 小学校同様、全員同じ給食にした方が、子供の気もち的に公平でよいと思う。各自、多様な内容の食事ではない方がよいと思う。
- ・ 安全性の高い食材を使用して頂き、また、産地などの公表もして頂きたいです。
- ・ 中学校給食は賛成ですが、食べごかりの時なのでかなりの量がいるだろうし、足りない子供たちは、家からも弁当（プラス分）持参もあってはいいかとも思います。
- ・ 中学校給食は、当番の事を考えると、全員が給食として方が、やりやすいのではないと思うが、アレルギーの人などには小学校のようにお弁当を許可するなどの配慮は必要だと思う。
- ・ 中学校給食について、実施することに基本的には賛成ですが、アレルギー対策や給食費の未払い等の問題に対しての対応は事前に明示して頂きたいです。

(給食と弁当の選択制がよい～アレルギー対応 など)

- ・ 学校給食はいいと思うのですが、アレルギーのある子供がいると思うし、お弁当をよるこんでくれる子供もいてるし、子供に選んでもらうと、いいと思います。
- ・ 食物アレルギーがあり、今も毎日、弁当を持たせています。クラスが変わるたび、そのことを知らない友達にいちいち説明しなくてはいけないことが、ストレスになってしまいます。選択制なら、一人だけ弁当だということでもわりを気にしなくてすむのではないかと思います。
- ・ 学校給食についても障害から来る偏食があるため現在小学校でも家庭から持参しています。特別扱いが目立たないようにする為にも全員給食ではなく、選択制としてほしいです。
- ・ 中学生にもなると個人の体格差など、個人差もできてくるので、個人に合った食事もとれるので家庭からのお弁当の方が良いように思います。

(給食と弁当の選択制がよい～給食費の問題 など)

- ・ 全員が学校給食を食べるのが好ましいが、給食費滞納の事など考えると選択肢があった方がいいのかなと思います。
- ・ 給食代を払わない親がいるので全員が給食には反対です。選択制にして例えばプリペイドカードのような物を先に購入して給食が必要な時はそこから引き落とすなど、払わない人がでない様にしてほしいです。
- ・ 学校給食については、全員給食を希望する気持ちが大いなのですが、給食費を払わない家庭の問題、アレルギーの問題等を考えると選択せざるを得ないと思います。

(給食と弁当の選択制がよい～その他)

- ・ 中学校になると子供との接触が少なくなると思うのでせめて、毎日のお弁当作りで私自身が子供のことを考える時間を持ちたい。また、できれば子供自身にもお弁当を作る機会を与えたいと考えていますので、お弁当の制度は残してほしいです。
- ・ 給食については、中学生の難しい時期に弁当を通じてコミュニケーションをとりたい親もいるだろうし、共働きの家庭にはまた、負担になることもあるので選択できると精神的肉体的不安をそれぞれ解消出来ると思う。

【その他】 (主なもの)

- ・ 両方とも地域の問題として多くの人に関心をもってもらえるようにしてほしいです。子どもの健全育成は地域貢献につながります。
- ・ もう、裕福な家の子だけがきちんと学力を付けられない世の中になってきているのを感じます。貧困の連鎖をとめるには大きく“公教育”を変えていく必要があります。学校には“精神を鍛錬する場所”ではなく“学び舎”であって欲しいと感じます。

### 3 調査分析のまとめ

学校選択制については、「小学校・中学校とも賛成」が30%、「中学校での実施は賛成」が21%（あわせると51%）となっています。「実施に反対」は34%です。

賛成する理由としては、複数回答のうち、68%の方が「子どもの個性や希望に合った学校が選択できると思う」をあげており最も多く、それ以外の理由は、ほぼ同じ30%台となっています。

反対する理由としては、「学校の施設や保護者間の評判等で学校が選ばれ、児童生徒数がかたよる恐れがあるから」が最も多く65%、次いで「子どもの見守りや防災訓練など、学校と地域が連携した取組がうまくいかなくなる懸念があると思うから」が59%で、その他2つの理由はほぼ同じ割合となっています。

賛成の場合の導入方法については、小学校は「自由選択制」が44%、「隣接区域選択制」が35%と前者が上回っています。「自由選択制」と回答された方は「せっかく選択制にするのであれば、自由にできた方がよい」や「選択出来る学校が多ければ、子供に合った学校を見つけやすい」などを理由としている一方、「隣接区域選択制」と回答された方は、「校区内よりも隣接区の学校の方が近い」「通学に便利で安全」など、通学距離と安全面の課題を理由としています。

一方、中学校では「自由選択制」が52%で、「隣接区域選択制」26%の2倍近くになっています。「自由選択制」と回答された方は「中学生ならば多少遠くても通学できる」や「卒業後の進路をふまえて自分の好む中学校に通える」など、小学生に比べ、子どもの自主性・自立性を重視するご意見が多くなっています。

中学校給食については、「全員が学校給食を食べる」が80%、「学校給食か、家庭から持参する弁当のどちらかを選ぶ」が17%となっています。

最後に学校選択制、中学校給食について自由記述によりご意見をお伺いしたところ、学校選択制へのご意見が約590件、中学校給食へのご意見が約1,240件ありました。その中で、給食費の未払問題について約250件、アレルギーについて約130件のご意見を頂いています。

回答にご協力を頂きました保護者の皆様、学校・施設関係者の方々に厚くお礼申し上げます。